

久喜地区

	意見等のまとめ	要旨・備考
1 グループ	<p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出かける場所を増やす。 ・サロンをつくる。 ・地区ごとに催しを区切らない参加。 ・知らない人の中にも入れるような声かけ。 ・配付物をきっかけにして、民生委員活動を知ってもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンはあったらよい、つくりたい。 ・元気サービス（地域支え合い事業）の依頼がない地域である（支え合いができている）。
2 グループ	<p>現在地域で取り組んでいる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お茶の間の会（江面本田地区）1 回／月。 ・長寿クラブ。 ・高齢者が先生役になる「昔の遊び教室」。 ・そば打ちの会、そばのお届け（ふれあい活動助成金の利用）。 ・お茶のみ、立ち話、庭先や畑での誰かとの会話。 <p>.....</p> <p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回覧板を持参、留守にするときは声をかける、子どもへの声かけ。 ・「受け手側」の「ありがとう」という気持ちが大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この地区は普段からの関係や見守りができている。 ・ひとり暮らしだからこその自由度もある。
3 グループ	<p>現在地域で取り組んでいる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブ。 ・老人会（1 回／月）による情報収集。 ・伝統的なまつりなど人が集まる。 ・子どもから高齢者までの声かけ。 <p>.....</p> <p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や、子ども、生活弱者を孤立させないために、サロン（移動サロン）をつくる。 ・区長や班長の力を借りて広報する。 ・社協活動を広く知ってもらう。 ・民生児童委員・班長会などで PR する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンに行きたいけど、足がない人や、集まりを望んでいる人がいる。 ・場所はあるが、道が危険なところがあり、移動サロンとして場所を変えていけばよい。

	意見等のまとめ	要旨・備考
1 グループ	<p>現在地域で取り組んでいる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災に関する取り組みとして、普段から顔合わせを行っている。 <p>-----</p> <p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出てこない人を引っ張り出すための方法を検討する。（顔を覚えて知ってもらう、定期的に会う・訪問する） ・ひとり暮らし高齢者への訪問活動を災害に備えて行う。（地域住民でリストをつくる（本人の了解を得る）、シニアクラブやサロンでの情報収集、地域で集まる機会をつくり、交流を図る） 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問しても、警戒されてしまうので、普段から交流を図り、顔を知っておくことが大切。 ・どこに誰が住んでいる等の情報は、住民側でリストアップすることも必要なのではないか。
2 グループ	<p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつを基本として、顔の見える関係性をつくる。 ・区長・民生委員・福祉委員等が有効な情報を発信する。行政、社協も情報発信に力を入れていく。 ・「〇〇の時は□□」という窓口一覧を作る。 ・地域の情報を共有し役員同士が連携する。 ・若年層の自治会活動等への参加・教育・啓発（自分の都合のつく時間に自治会活動に参加するなど） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の若年層と顔の見える関係性をつくることで、お互い様の気持ちで解決に結びつけることができる。
3 グループ	<p>現在地域で取り組んでいる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロンを実施中（月 1 回）。 ・区内を歩き、出会った人に声をかける。自宅前を掃除していると声をかけられる。ゴミ集積所で話すと、初めての人とでも話しやすい。 ・見守り隊で、通学時見守りを続けている。 <p>-----</p> <p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代を呼び込むために、夏祭りを継続する（ビンゴ・スイカ割・ヨーヨー釣り）、防災訓練人は子ども会にも声をかける（防災備品を用意する）、餅つき大会に子ども会に声をかけるなどをやる。 ・敬老会でアルコールを通じたコミュニケーションを図る。 ・くき元気サービスをサロンで紹介し、協力したい人、支援を希望する人に広報する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自身でできることは、取り組んでいく。（自主的な声かけ、ボランティアなど） ・若い世代を取り込むための方策を考える。（子どもが参加しやすいイベントなど）

	意見等のまとめ	要旨・備考
1 グ ル ー プ	<p>現在地域で取り組んでいる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所とあいさつをする。 ・自主防災訓練に力を入れて取り組んでいる。 <p>.....</p> <p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・孤独を解消し、顔見知りをつくるために、まずはあいさつや声かけをする。 ・地域活動に参加すると、ポイントがたまるなどのポイント制の導入を検討する。 ・クッキーダンスを通じて世代間交流を実施する。 ・自分自身が楽しみを見つけ、生きがいを得ることが暮らしやすい街づくりにつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の様々な組織が横のつながりを持って連携することが大事。 ・サロンなどの集まる機会を積極的に利用できるよう自発的な意識を持つことが必要。 ・小中学生も一人の市民として考える。

	意見等のまとめ	要旨・備考
1 グループ	<p><u>今後地域で取り組めること</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と顔なじみ・顔見知りになる。 ・あきらめずに何度でも関わり続ける。 ・サロンに参加、地域の清掃活動に参加、集会所の健康体操に参加、おすそ分けをするなど、きっかけをつくる。 ・男性が参加しやすいように、役割を持ってもらう。 ・老人会や子ども会など幅広い世代間の交流が大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動を継続していくことでだんだんと活動に参加する人が増え、地域も活性化される。
2 グループ	<p><u>今後地域で取り組めること</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりを深める（あいさつを活発にする、子ども会活動を活発にする）。 ・子どもが大人を信頼できる地域をつくる（大人からあいさつをする、学校などの送迎は、複数人で行い、大人の目を増やす） 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに関する事件が増えているが、家庭では「地域の人とあいさつをする、あいさつを返す」ということを指導していくとよいのではないか。
3 グループ	<p><u>今後地域で取り組めること</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性の参加が呼び込める「パパ友づくり」をやってみる。 ・子育てが一段落した世代（40～50代）の集まれる場所づくり。 ・地域の中で、何かしらの役目を割り当て担当してもらう。 ・対象者を具体的に明確化すると、参加しやすくなる（畑が好きな人、ペットを飼っている人など）。 ・朝のラジオ体操など、家から近い場所で、定期的を開催して集まれる活動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段、地域に出てこない人へのきっかけをつくることと、居場所づくりが必要。

	意見等のまとめ	要旨・備考
1 グループ	<p>現在地域で取り組んでいる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロンや茶話会などふれあいの場がある。 ・活動者（区長、民生委員、福祉委員）を組織化し、情報の共有を図っている。 <p>-----</p> <p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動している人が誘い、活動の仲間を増やす。 ・情報をリスト化し、共有する。地域活動に役立つマップをつくる。 ・回覧よりも、声かけをする。 ・活動には子どもを加える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史や風土を知り、久喜に愛着を持ち、久喜が持つプラス面をアピールし「住みたいまち」にしていく。
2 グループ	<p>現在地域で取り組んでいる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動者（区長、民生委員、福祉委員を組織化し、情報の共有、見守り、巡回、声かけを実施している。 ・サロン開催。 ・本町小学校との交流。 ・グラウンドゴルフ会の開催、参加声かけ。 <p>-----</p> <p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の空き教室を利用した「見守り会議」の開催。 ・小学校と連携し子どもとの交流の場（子どもまつりなど）を定期的で開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「楽しみの投げかけ」が必要。それには地域の力だけではなく、行政や企業の企画も地域に投げかけてもらおうとよい。 ・地域における孤立化を防ぎ、住民が長く元気に生きられる取組を検討する。
3 グループ	<p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者や地域住民だけでなく、地域の協力者にもサービスの情報提供をする。 ・あんしんカードの活用について、周知・PRすることで行なう。 ・近所の見守りや高齢者、障がい者の見守りをしていく（ゴミ出しの仕方の変化などを発見できる）。 ・学校や地域など共通した関わりをつくることを大切に ・アパートに住む方（子育て世代等）への福祉・育児などの案内をして関係・つながりをつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社協事業の「あんしんカード」「くき元気サービス」の活用を PR することを、優先的取り組みとし、このことをきっかけに地域とのつながりや関係づくりを進めていく。

<p>4 グ ル ー プ</p>	<p>現在地域で取り組んでいる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いきいきサロン（月1回）。 ・町会のバス旅行（年1回）。 ・近所の公園の草取り。 <hr/> <p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事等には、地区の枠を取り払い多くの地区から参加してもらう。 ・参加費はできるだけ安くする。 ・みんなが知っている身近な歌、踊りに誘ってみる。 ・集まった流れでお茶会にする。 ・77歳等のお祝いに記念品を用意する。 ・子どものいる若い世帯にも参加してもらえよう、花火大会や防犯活動の声かけをする。 ・声かけは「参加したい、やりたい」の後押しになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名前まで知らなくても「顔を知っている」ということは大きい。 ・具体例として「甘棠院史跡公園の草取りに子どもも参加し、花火大会→顔を知る→防犯活動→地域の防犯」という案が出る。 ・遊び感覚でもよいので、参加してもらうことがまず一歩につながるのではないか。
<p>5 グ ル ー プ</p>	<p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の空き教室、集会所を開放し、拠点をつくる。 ・趣味が同じ人のグループをつくるなど、多様なメニューを用意する。 ・地域の地図をつくり、見守り活動に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何をするにも、会場となる拠点づくりが必要。空き家を集会所にする方法も検討した。

	意見等のまとめ	要旨・備考
1 グループ	<p>現在地域で取り組んでいる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回覧板や配り物は、必ず本人と顔を合わせて手渡しをする。 ・空き家には、車を駐車させたり、近所の人で草取りをするなど人が出入りしている。 ・散歩がてら見回り、声かけをしている。 <p>-----</p> <p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが参加する行事（バーベキュー、祭りなど）を開催する。 ・個人が積極的に参加する気持ちを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯や一人暮らし世帯があるが、訪問しても迷惑がられ、困ることもある。
2 グループ	<p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な声かけやあいさつが必要。 ・近所と顔見知り、顔なじみになることが大切。 ・活動を継続することで、知名度も上がり人も集まるので、継続することが大事。 ・地域で役割を持つことの良いこと、メリットを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昔は皆農家で、同じ役割を持っていて、集まると話が合った。今は女性も勤めに出ていることが多く、集まること自体が難しい。

	意見等のまとめ	要旨・備考
1 グループ	<p>現在地域で取り組んでいる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回の見守り巡回している。 <p>-----</p> <p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロンを立ち上げ、増やす。 ・サークル活動（卓球・手芸・習字・グランドゴルフ・麻雀・飲み会）をする。得意なことを活かす。 ・回覧板を手渡しする。 ・住民同士だけでなく施設（専門職を含む）と交流を図る。 ・区長・民生委員・福祉委員が連携し、日頃から連絡を取合う。ひとり暮らし高齢者を把握する。 ・福祉委員を選出し、協力者を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・優先順位が一番は、ふれあい・いきいきサロンやサークル活動を通じ交流を持つこと。 ・交流を図るには拠点があることが必要。
2 グループ	<p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは挨拶をし、顔を覚えてもらう。顔見知りになる。 ・井戸端会議はコミュニケーションをとるにあたって、重要。 ・コミュニティ協議会は地域づくりの中核を担うため、立場や役割に関係なく、誰でも参加できるコミ協を作る。まずはお隣から誘い合っでの参加をし、誰でも参加できる事業の企画や広報をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者になると、声掛けを煩わしく感じるが増えるが、安心できる地域づくりを目指し、地域に目を向けることが大切なのではないか。日頃からのコミュニケーションは重要。
3 グループ	<p>現在地域で取り組んでいる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園でのラジオ体操をしている。 ・はつらつ体操を実施している。 <p>-----</p> <p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集まって話すのが苦手な人でも参加しやすいように、集まる目的がはっきりしたもの（体操やヨガ、体力測定等）を企画する。 ・ラジオ体操などの集まる場所に行くまでに、一人では行かずに、誘い合っていく ・防災訓練等の行事は参加率が高いので、その際にサロン等の情報提供や呼び込みをしていく。 ・参加者が高齢者に偏っているので、子どもや障がい者でも参加できるものを企画する。 ・サロンの後に体操を入れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易な体力測定を行うことで、自分の健康にも目を向けることができる。

4 グループ	<p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場の確保のために、空き家の再利用や、集会所の地域優先利用等があるとよい。 ・サロン同士の情報交換を気軽に行い、より良い運営に生かす。 ・サロンを通してお互いのつながりがつくられる。時期により世代間交流行事も入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・優先順位の一番は、ふれあい・いきいきサロンを小さい単位でたくさん増やしていくこと。ただ、立ち上げるには、「人、金、物」の問題があり、すぐに始められないジレンマがある。
5 グループ	<p>現在地域で取り組んでいる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あんしんカードの作成 ・地域のパトロール（集まるきっかけにもなる） ・緊急連絡先を登録する（住民の許可を得て、区で作成している。） ・気軽に集まれるようサロンを始めてみた。続ける。 ・みんなが集まる場としては、食事会やまつりがある。 <p>-----</p> <p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・区長の情報交換をし、一緒に訪問する。 ・救急車が止まったら、野次馬ではなく、役目として見に行く。 	

	意見等のまとめ	要旨・備考
1 グループ	<p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会の催し物に積極的に参加し、近所や地域での顔見知りを増やす。 ・個人の特技や能力を生かす（囲碁や将棋等でのボランティアなど）。 ・共通の趣味やスポーツに参加し、同じ目標に向かって協力し合う。 ・近所の方に会ったら、あいさつをする習慣をつける。 ・一人ひとりが受け身ではなく、積極的に外出の機会を持ち、様々なことを話せる話し相手を作る。 ・男性の方も地域の集まりなどに参加し、仲間を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人としてできること、自治会としてできることについて重点を置き話し合う。
2 グループ	<p>現在地域で取り組んでいる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の見回り。高齢者宅への訪問。 ・ボランティアとして、一人暮らしの高齢者宅へ買い物等のお手伝い。 ・子どものあいさつ運動（登下校時）。 <p>-----</p> <p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアなどできることはやる。 ・既存の活動がニーズに合っているかを確認し、必要に応じて改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かくれ孤立に陥っている人、SOSを出せない人は多く、どのように外へ出すかについて話し合った。結果、現在の活動の改善等について話が及んだ。
3 グループ	<p>現在地域で取り組んでいる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室（ゆうゆうプラザ）の活動を続ける。 <p>-----</p> <p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域において役割を持つ（あいさつ運動、見守り、パトロール隊への参加）。 ・「口コミ」の力は何より大きい。それを使い、広報、周知を行う。 ・班ごとの集まり（祭りなどのイベント）を増やす。 ・市民大学、高齢者大学などへの参加し、そこでつながりを持った人達と一緒に活動を続けていく。 ・集会所単位での活動（カラオケ、卓球など）を行う。 ・自治会単位での活動目標を具体的に定める（実現可能な内容で）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・優先順位 1 番は、「役割を持って地域に関わること」まず自分でできる範囲の活動を少しでも行っていくこと。活動を続けていくことは難しいが、続けることで他の人を巻き込めたり、他人事の人達にも知ってもらえる機会となる。

4 グ ル ー プ	<p>現在地域で取り組んでいる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青葉団地高層階では「高齢者見守り隊」を3年前に結成し、見守りを続けている。(サポート隊でゴミ出しをする、常に他機関と連携をとっている、登下校の見守りをしている、「物音がする、しない」「電気がつく、つかない」で見守りをしてもらう) ・自治会の定期的な掃除のときに顔を合わせることが出来る。最近はこれに「防災訓練」をプラスして実施している。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>今後地域で取り組めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班の人ぐらいは知り合いになる ・とにかく「声かけ」は必要。何度でも、あきらめずに行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・優先順位 1位は、とにかく声をかけること。
-----------------------	--	--